

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2011年度第1回常任幹事会議事要録

日時：2011年4月22日（金）14時～16時45分

場所：中京大学図書館附属新棟 6号館2階 第2会議室

出席：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田 正江）、中部大学（蓑島 智子）、
名古屋学院大学（山内 隆文、中田 晴美）、豊橋創造大学（中島 慶子）、
愛知大学（中村 直美、桂 三幸）、愛知学院大学（足立 祐輔）、
愛知淑徳大学（武藤 まり子）、名古屋経済大学（加藤 裕子）、
南山大学（関谷 治代）、中京大学（佐藤 隆、中河原 省三、渡邊 英二） 敬称略

議事に先立ち、理事校中京大学図書館長（佐藤）の挨拶の後、会則に基づく本年度常任幹事校及び本日の出席校の確認並びに出席者の自己紹介が行われた。なお、議事進行は理事校中京大学図書館長（佐藤）が担当し、下記の議題を協議した。

<1> 2011（平成23）年度東海地区協議会総会について

I. 理事校中京大学（中河原）より資料（p.1）に基づき総会議事進行について説明がなされた。

II. [報告事項]

1. 2010（平成22）年度東海地区協議会事業報告

前年度理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より資料（p.2～4）に基づき報告が行われた。

2. 2010（平成22）年度東海地区協議会研究会事業報告

前年度研究会委員長校中京大学（中河原）より資料（p.5～8）に基づき報告が行われた。

3. 2010（平成22）年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議報告

前年度幹事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より資料（p.9）に基づき報告が行われた。

4. 2010（平成22）年度協会関連事項報告

（1）協会関係事項報告

1）加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員

理事校中京大学（中河原）より資料（p.10～13）に基づき報告が行われた。

2）2010年度委員会報告

①協会賞審査委員会

協会賞審査委員会委員校名古屋学院大学（山内）より資料（p.14）に基づき報告が行われた。

②研究助成委員会

理事校中京大学（中河原）より資料（p.14）に基づき報告が行われた。

③国際図書館協力委員会

前年度国際図書館協力委員会委員愛知大学（桂）より資料（p. 14～18）に基づき報告が行われた。

④協会ホームページ委員会

前年度協会ホームページ委員会委員中京大学（渡邊）より資料（p. 18～19）に基づき報告が行われた。

3) 私立大学図書館協会2011年度西地区部会総会について

理事校中京大学（中河原）より資料(p. 20)に基づき報告が行われた。

4) 第72回（2011年度）私立大学図書館協会総会・研究大会について

理事校中京大学（中河原）より資料(p. 21)に基づき報告が行われた。

(2) 協会関連事項報告

理事校中京大学（中河原）より資料(p. 22～25)に基づき報告が行われた。

III. [協議事項]

1. 2010（平成22）年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

前年度理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より資料（p. 26～28）に基づき、決算案について説明が行われた。脱会校による加盟会費の差異等説明がなされた。併せて資料（p. 29～31）に基づき研究会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について担当校より説明が行われた。研究会決算については実務担当者研修会参加費の処理上、後付ではあるが2010年度研究会予算の収入の部の科目に本来科目としてあるべき実務担当者研修会参加費を加える修正の説明がなされた。その後、監事校愛知淑徳大学（武藤）より決算案について本日4月22日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

2. 2011（平成23）年度東海地区協議会役員校および委員校（案）

理事校中京大学（中河原）より資料（p. 32）に基づき説明が行われ承認された。

3. 2011（平成23）年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校中京大学（中河原）より資料（p. 33）に基づき説明が行われた。これに対して、南山大学（関谷）より事業計画案を提案するのに、未定の項目が見受けられるので、早急にテーマ等について提示すべきであるとの意見が出された。協議の結果、この指摘に対して可能な限り総会までにテーマ等を提示できるように努力するという事で理解が得られ、承認となった。

4. 2011（平成23）年度東海地区協議会予算（案）

理事校中京大学（中河原）より資料（p. 34～36）に基づき、予算案について説明が行われた。まず、収入の部における加盟会費及び地区研究会交付金について、2010年度における脱会校の影響による予算額の差異等が説明された。また、館灯広告掲載費については、2010年度の掲載業者減少による決算額を反映させた旨説明がされた。

5. 2011（平成23）年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）について

研究会委員長校中部大学（蓑島）より資料（p. 37～38）に基づき、今年度の事業計画と予算案

について説明があり承認された。また未定の項目について言及がなされ、総会には決定された事項を記載した資料が提出される旨報告があった。なお、2011年度予算案についても、2010年度決算案の修正に伴い、総会に修正版を提出することになった。

6. 2011（平成23）年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）について

理事校中京大学（中河原）より資料（p.39）に基づき、今年度の事業計画と予算案について説明があり承認された。また未定の項目について可能な限り早急に充足の努力をする旨、付言された。

7. 2011（平成23）年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・当番校について

理事校中京大学（中河原）より資料（p.40～43）に基づき説明があり、確認がなされた。また2012年度までには2015年度西地区部会研究会の会場校を東海地区から選出することの協力依頼がなされた。

<2> その他

I. 東日本大震災に対する東海地区協議会の協力支援について

南山大学（関谷）及び愛知学院大学（足立）より東日本大震災の被災者に対して東海地区協議会として何かできる支援はないかという提案があり、協議された。すでに東海地区協議会加盟館の中で個々の館としての支援を私立大学図書館協会のホームページ上に名乗り出ている館もあるが、さらに東海地区協議会の組織として一致した支援の希望も出されたが、各館の事情や時間的な関係もあり、ひとまず用意されていた「東日本大震災の被災大学関係者への協力支援について」の文案を修正して、東海地区協議会として被災者への衷心の意を表すことと東海地区協議会加盟館各館で無理のない範囲での協力支援（被災者の東海地区協議会加盟館各館への来館利用に際し、身分確認不要もしくは簡素化等）を表明するために早急に東海地区協議会ホームページへの協力支援文の掲載をするということとなった。（近日中に加盟館に確認メールを理事校から出すこととなった。）また今後の協力支援については状況を見て判断することとなった。

II. スпамメールについて

愛知大学（中村）より東海地区協議会ホームページ上にある東海地区協議会宛のメールアドレスにスパムメールが入りやすいという指摘があり、アドレスの@部分を大文字にしたらどうかという提案があり、理事校からWEB担当者に確認することとなった。

以上